

「長島町防災訓練」を実施

大型バスと乗用車が衝突！ がけ下で救助を待つ

町では8月19日、長島町防災訓練を鷹巣ダム周辺と鷹巣運動場で実施し、町関係者や長島町消防団、阿久根警察署など150人が参加しました。

今回は、大型観光バスと乗用車が鷹巣ダム付近で衝突し、乗用車が5階下のがけに転落。バスの乗客など30人以上が重軽傷を負い、鹿児島県消防防災ヘリコプターの救助出動を要請しました。

訓練は、消防団員らが負傷者と救助役になるなど実際の事故現場を想定し、対策本部では事故発生後、状況把握や

町では8月19日、長島町防災訓練を鷹巣ダム周辺と鷹巣運動場で実施し、町関係者や長島町消防団、阿久根警察署など150人が参加しました。

今回は、大型観光バスと乗用車が鷹巣ダム付近で衝突し、乗用車が5階下のがけに転落。バスの乗客など30人以上が重軽傷を負い、鹿児島県消防防災ヘリコプターの救助出動を要請しました。

訓練は、消防団員らが負傷者と救助役になるなど実際の事故現場を想定し、対策本部では事故発生後、状況把握や



救助隊による引揚救助訓練



関係機関との情報伝達訓練



負傷者を発見し、防災ヘリへの引揚げを準備する救助隊員

第41回全国消防救助技術大会

東・長島分遣所チームは入賞

第41回全国救助技術大会が8月7日、東京で開催されました。

この大会は、複雑多様化する災害現場に対応できる技術と、強じんな体力、精神力を養うことが目的で、この日は、鹿児島県代表地として、本町の東・長島分遣所チームが参加し、51チーム中23位の成績で入賞を果たしました。

今回出場したのは、永田康夫さん、中村文俊さん、宮脇

祐二さんのチームで、日ごろ鍛え抜いた救助技術を披露しました。

種目は3人1組で、空気呼吸器を装着した隊員が救助者を屋外に救出するタイムを競い、選手らは、連日の訓練成果を発揮しました。

出場した永田康夫さんは「全国大会で緊張したが、日ごろの訓練成果を発揮できた。今後も日々訓練に励みたい」と話しました。



開会式が行われた、ゆりかもめ新豊洲駅前特設会場



スタートの出番を待つ、永田さん（左）と宮脇さん（右）